

○倉敷市新溪園条例

昭和45年3月23日

条例第19号

改正 昭和46年12月20日条例第109号

昭和49年12月21日条例第75号

昭和58年6月24日条例第18号

平成3年9月30日条例第21号

平成9年3月25日条例第4号

平成9年6月30日条例第33号

〔この改正で題名改正〕

平成13年3月23日条例第29号

平成17年3月25日条例第54号

平成17年7月27日条例第90号

平成25年12月26日条例第50号

平成26年9月26日条例第60号

平成31年3月22日条例第3号

(設置)

第1条 市民のための集会所および憩いの場所として、本市に新溪園を設置する。

(名称および位置)

第2条 新溪園の名称および位置は、次のとおりとする。

名称	位置
倉敷市新溪園	倉敷市中央1丁目1番20号

(事業)

第3条 新溪園は、次の事業を行う。

(1) 施設及び施設の附属施設（以下「施設等」という。）の提供

(2) 前号に掲げるもののほか、施設の設置目的を達成するための事業

(指定管理者による管理)

第4条 新溪園の管理は、倉敷市公の施設指定管理者の指定手続等に関する条例（平成15年倉敷市条例第54号）に基づき、市長が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこ

れを行わせることができる。

(指定管理者が行う業務)

第5条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 施設等の使用の許可に関する業務
- (2) 施設等の維持管理に関する業務
- (3) 使用料の徴収に関する業務
- (4) 前3号に掲げるもののほか、新溪園の運営に関する業務のうち、市長のみの権限に関する事務を除く業務

(指定管理者の権限)

第6条 指定管理者は、指定が効力を有する間、次条から第9条まで及び第16条に規定する市長の権限を行うものとする。ただし、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第11項の規定により、管理の業務の全部又は一部の停止を命ぜられた期間における当該停止を命ぜられた業務に係るものを除く。

(開園時間)

第7条 新溪園の開園時間は、午前9時から午後5時15分までとする。

- 2 有料施設については、午後5時から午後9時までの間についても使用することができる。
- 3 前2項の規定にかかわらず、市長において特に必要があると認めるときは、開園時間を変更することができる。

(休園日)

第8条 新溪園の休園日は、次のとおりとする。ただし、市長において特に必要があると認めるときは、休園日を変更することができる。

- (1) 年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）
- (2) 前号に掲げるもののほか、市長において特に必要があると認めた日

(使用の許可)

第9条 新溪園を使用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

- 2 市長は、前項の許可について管理上必要な条件を付することができる。

(行為の禁止)

第10条 新溪園内においては、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すこと。

- (2) 竹木を伐採し、若しくは損傷し、又は植物を採取すること。
 - (3) 土地の形質を変更すること。
 - (4) 鳥獣魚類を捕獲し、又は殺傷すること。
 - (5) 車馬を乗り入れ、又は止め置くこと。
 - (6) みだりに火気を使用すること。
 - (7) 施設等を損壊すること。
 - (8) はり紙若しくははり札をし、又は広告及びこれらに類するものを表示すること。
 - (9) 前各号に掲げるもののほか、新溪園の使用及び管理に支障がある行為をすること。
- (有料施設)

第11条 新溪園内の施設で有料で使用させるもの（以下「有料施設」という。）は、次のとおりとする。

- (1) 敬儉堂
- (2) 游心亭

(使用料)

第12条 有料施設を使用しようとする者は、別表に掲げる使用料を納付しなければならない。

2 前項に定めるもののほか、付属設備を使用する者は、当該付属設備について別に定める額の使用料を納付しなければならない。

3 第1項の使用料は、有料施設の使用の許可を受けたときに納付するものとする。

(使用料の不還付)

第13条 既納の使用料は、返還しない。ただし、使用者の責に帰することのできない理由により新溪園を使用できなくなった場合、または市長が特に必要と認めた場合においては、この限りでない。

(使用料の減免)

第14条 市長は、新溪園の使用の目的が公益による場合、または特に必要と認めたときは、使用料を減免することができる。

(利用料金)

第15条 市長は、新溪園の管理を第4条の規定により指定管理者に行わせる場合において適当と認めるときは、指定管理者に有料施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を当該指定管理者の収入として収受させることができる。

- 2 前項の場合において、利用料金は、第 12 条の規定にかかわらず別表及び附属設備の使用について定める規則に掲げる額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定めるものとする。利用料金を変更しようとするときも、また同様とする。
- 3 指定管理者は、前項の承認を受ける場合においては、あらかじめ、利用料金の額の案を作成し、市長に承認を申請するものとする。
- 4 指定管理者は、第 2 項の規定により利用料金を定めたときは、直ちに公表するとともに、新溪園において利用者の見やすい場所に掲示しなければならない。
- 5 指定管理者は、第 1 項の場合において、市長の承認を得て定める基準により、利用料金を返還し、又は利用料金を減免することができる。

(使用許可の取消し等)

第 16 条 使用者が次の各号の一に該当するときは、市長は、新溪園の使用を停止し、または使用の許可を取り消すことができる。

- (1) この条例またはこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 使用許可の条件に違反したとき。
- (3) その他管理上必要があると認めるとき。

2 前項の規定により使用者に損害を生ずることがあつても、市はその賠償の責を負わない。

(権利の譲渡禁止等)

第 17 条 使用の許可を受けた者は、その権利を他人に譲り渡し、または転貸し、もしくは使用させてはならない。

(使用者の義務)

第 18 条 使用者は、新溪園の使用を終わつたとき（使用許可の取消し、又は使用停止を命ぜられたときを含む。）は、直ちに施設等を原状に復さなければならない。

(使用者の責任)

第 19 条 使用者が、施設等を破損し、又は滅失したときは、これを原形に復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長においてやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(委任)

第 20 条 この条例の施行について必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、昭和45年4月1日から施行する。

(関係条例の廃止)

- 2 倉敷市新溪園条例（昭和42年倉敷市条例第29号。以下「旧条例」という。）は廃止する。

(経過措置)

- 3 この条例施行の際、旧条例の規定により使用の許可を受けている者は、この条例の規定により許可を受けたものとみなす。
- 4 この条例施行の際、旧条例の規定により徴収し、または徴収すべきであつた使用料については、なお従前の例による。

附 則（昭和46年12月20日条例第109号）

この条例は、昭和47年1月1日から施行する。

附 則（昭和49年12月21日条例第75号）

(施行期日)

- 1 この条例は、昭和50年1月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例施行の日前において、改正前の倉敷市新溪園^{けい}条例の規定により徴収し、又は徴収すべきであつた使用料については、なお従前の例による。

附 則（昭和58年6月24日条例第18号）

この条例は、昭和58年7月1日から施行する。

附 則（平成3年9月30日条例第21号）

(施行期日)

- 1 この条例は、平成3年10月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の倉敷市新溪園^{けい}条例別表の規定は、この条例の施行の日以後に有料施設の使用の許可を受けた者について適用し、同日前に有料施設の使用の許可を受けた者については、なお従前の例による。

附 則（平成9年3月25日条例第4号）

(施行期日)

- 1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例による改正後の各種使用料等に係る規定は、この条例の施行の日以後に使用等の許可を受けた者について適用し、同日前に使用等の許可を受けた者については、なお従前の例による。

附 則（平成9年6月30日条例第33号）

この条例は、平成9年9月1日から施行する。

附 則（平成13年3月23日条例第29号）

(施行期日)

- 1 この条例は、平成13年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の日前において、改正前の倉敷市新溪園条例の規定により徴収し、又は徴収すべきであった使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成17年3月25日条例第54号）

(施行期日)

- 1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の際現にこの条例による改正前の倉敷市新溪園条例第13条の規定によりその管理を委託している場合については、平成18年3月31日までの間は、なお従前の例による。

附 則（平成17年7月27日条例第90号）

この条例は、平成17年8月1日から施行する。

附 則（平成25年12月26日条例第50号抄）

(施行期日)

- 1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(その他の使用料等に係る経過措置)

- 6 この条例（第1条及び第34条を除く。）による改正後の各種使用料等に係る規定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

附 則（平成２６年９月２６日条例第６０号）

この条例は、平成２６年１０月１日から施行する。

附 則（平成３１年３月２２日条例第３号抄）

（施行期日）

１ この条例は、平成３１年１０月１日から施行する。

（その他の使用料等に係る経過措置）

６ この条例（第２条及び第３２条を除く。）による改正後の各種使用料等に係る規定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

別表（第１２条、第１５条関係）

施設名		金額		
		午前９時から正午まで	正午から午後５時まで	午後５時から午後９時まで
敬俟堂		１，２１０円	１，５４０円	２，７５０円
ゆう 游心亭	和室	９９０円	１，４３０円	２，４２０円
	茶室	１，９８０円	２，５３０円	４，４４０円

備考

- １ 冷暖房を使用する場合は、１時間につき、敬俟堂にあつては２１０円、ゆう
游心亭にあつては１０５円を加算する。
- ２ 冷暖房の使用時間に１時間未満の端数があるときは、３０分未満は切り捨て、３０分以上は１時間として取り扱うものとする。
- ３ 営業割増し 使用者が営業の宣伝その他これに類する目的をもつて使用する場合は、金額に当該金額の１００パーセントを加算する。
- ４ 金額には消費税及び地方消費税を含む。